



サイコウ sci-甲! サイエンス 甲南高校

担当：1年3組（加嶋・見附）

1. SSH 交流フェスタ(4位入賞！)

11月13日(金)、第一工業大学でSSH交流フェスタが行われました。本校からは、スライド発表とポスター発表をそれぞれ3グループが行いました。

今回は、「みんなに届け防災情報」というテーマでスライド発表をし、初参加ながら4位入賞を果たした1年3組の4人にインタビューをしました！



Q 会場の雰囲気はどうでしたか？

A 本格的でした。交流フェスタ自体は2回目ですが歴史があるわけではないのですが、何年も前からSSH指定校として活動している高校は研究の質が高いと感じました。甲南は1年目の活動で、他の高校と比べて全ての班において厚みが足りないと感じました。SSHの大会や交流会も増えているので、今後も実践的な経験を積んでいく必要があると思います。

Q SSH交流フェスタを通じて感じたことは？

A 高校によって研究の特色も様々なので、他の高校と合同で中間発表会をしていくことで、お互いにインセンティブを与え合うことができると思います。

Q 4位を取ってどのように感じましたか？

A 悔しかったです。と同時に妥当だと感じました。1,2,3位の所はデータも細かくて考察も深く、自分たちはもっと努力する必要があると納得できた結果だったので、さらなる意欲につながりました。

Q SS探究にかける時間の違いは？

A あると思いますね。部活動として取り組んでいる他校に比べると、かけられる時間が少ないと思うので、私達1人1人の意欲と情熱が大切だと感じます。

Q SS探究を高い水準にしていくには？

A 交流フェスタに参加したことで多くのことを学んだように、今後も他校の研究内容も参考にしながら、色々な研究に触れていくことが大事だと思います。

Q 先行研究を調べるということですか？

A それもありますが、自分が興味のないものにも興味を持てるような好奇心を持つことが大切だと思います。

今回のインタビューにより課題も見つかりました。多くのことと両立させながら、どれだけ質の高いSS探究をしていけるのか、先を見直すことが重要です。2年生になるとさらに深みが求められるので、じっくりとテーマ設定できるよう事前に準備をしていきたいです。

2. 命を守る防災エンス

11月20日(金)、鹿児島大学学術研究院理工学系の酒匂一成教授をZOOMでお招きし、防災について科学的な内容の講話をしていただきました。



地滑りの音を聞いたらもう助かる可能性は無いことや、液状化現象の原理などについて学びました。日本は災害の多い国なので、このようなことが起きた場合にどのように対処すればいいのか考えることができました。ハザードマップの活用や家具の固定など、事前に備えておくことの必要性も痛感しました。この講話内容を、SS探究の個人テーマを決める参考に繋げることができればいいと思います。

自然科学部部長からの挑戦 Part 2!)

Q 人間の体の中で一番固い部分は何でしょう？

1、頭蓋骨 2、肋骨 3、歯 4、背骨

クイズの答え：3. 歯 詳しく聞きたい人は、自然科学部部長勝目君まで！（入部届、まだあるよ！）